



東三河観光ガイド
とよはしほの国
2023.SPRING

特集1
東三河の季節を彩る
伝統の祭

特集2
とよはしまちあるき
吉田城春まつり



発行 一般社団法人豊橋観光コンベンション協会
TEL0532-54-1484 http://www.honokuni.or.jp/toyohashi
〒440-0075愛知県豊橋市花田町石塚42-1[豊橋商工会議所8F]
協力/愛知県東三河広域観光協議会



豊橋 石巻神社例祭 鬼祭り
白い粉にまみれ、たんきり飴を食べて
病気知らず!

鎌倉時代に、地域の人々の安寧を守る神事として受け継がれてきたといわれる鬼祭り。「源頼朝公が奉納した観音面が鬼の始まり」「820年前から伝わる三河最古の鬼行事」など諸説あるものの真偽のほどは謎。赤鬼、黒鬼、小鬼が境内を走り回りながらまき散らす白い粉を浴び、「たんきり飴」を食べれば厄除けになるとあって見物客も喜んで粉まみれになるユニークなお祭りです。鬼の装束にちなんでボーダー柄の服を着て行ってみては?

■当日スケジュール
10:30~本祭
11:30~初まいり
13:30~小鬼
14:00~大鬼
15:00~獅子舞
15:30~神輿渡御

同日開催 **石巻ボーダー日和**
■10:00~16:00
臨時駐車場(石巻運動広場)から石巻神社までの道筋で開催!石巻地域の特産品などいろいろの店が並びます。

■開催日—4月2日(日)
■場所—石巻神社/豊橋市石巻町金割1
■問合せ—豊橋観光コンベンション協会 0532-54-1484

豊橋 賀茂神社葵祭大旗神事

日本一の大旗を奉納、
天下人への道を駆け上がった家康公。

729年創建。源頼朝により京都賀茂神社の新領地と認められた歴史を持つ神社です。1568年徳川家康公が遠州出陣にあたり武運長久を祈願して長さ21m、幅1.6mの麻布製の大旗を奉納。この大旗は例年の大祭「葵祭り」で掲揚され、天下人となった家康公がいかにこの神社を厚く崇敬したかを感じることができます。



家康メモ
大旗の掲揚場には家康公の像が鎮座し、その場を見据えています。泰平の世を築いた天下人にとって現代の世はどのように映っているのでしょうか?

■開催日—4月16日(日)
■場所—賀茂神社
豊橋市賀茂町山2
■問合せ—豊橋観光コンベンション協会 0532-54-1484

■開催日—4月16日(日)
■場所—伊良湖神社/田原市日出町骨山1407
■問合せ—渥美半島観光ビューロー 0531-23-3516

東三河の季節を彩る 伝統の祭

柔らかな春の光が
優しく降り注ぐ季節。
東三河のあちこちで地元の人から
大切に守り受け継がれてきた
伝統の祭が開催されます。
いずれも長い歴史を持つだけあって
その魅力は紙面で紹介しきれないものばかり。
ぜひ一度足を
運んでみて下さい。

田原 伊良湖神社おんぞ祭

伊勢の神様の衣は三河でとれた蚕糸でできていた!?

伊勢神宮の神様に新しく服を奉納する「神御衣祭(かみみそい)」に合わせて行われる伊良湖神社のおんぞ祭。「おんぞ」とは神様の服のこと。三河地方でとれた蚕糸(さんし)を、お糸船で伊勢神宮に献上したことが始まりと言われており、袴千々姫命(たくはたちひめのみこと)という織物の神様が祀られています。この祭りの前日に食器類を清め、お餅を神前に供えること、当日や洗濯は針仕事をしないことは、今も言い伝えられています。伊良湖神社は伊勢神社との関りが深い神社だけあって遙拝所もあり、離れたところからでも伊勢神宮を拝むことができます。



戦国土産
お祭りを見学した記念の戦利品!
お羊の生産者が考案した戦国武将のカード付お菓子やクリアファイルなどユニークなお土産が新登場!記念にいかが?

●クリアファイル1枚330円
●馬防備さつまいもスティック(カード付)980円
のぼりまつり会場で販売される他、道の駅もつくる新城、道の駅鳳来三河三石、長篠設楽原PAなどで販売中



新城 長篠合戦のぼりまつり

絵巻物さながらの雰囲気の中で楽しむ戦国時代。
1575年武田勝頼率いる1万数千の武田軍と総勢5万人を超える織田・徳川連合軍が激突した長篠の戦い。この戦いで倒れた両軍将士の霊を慰めるために行われる祭りです。関係将士の紋入りのぼり数千本が立てられ、鎧・兜に身を固めた砲術隊による合戦行列や大銃銃の演武、勇壮な長篠陣太鼓の演奏、弓の演武などが行われ、まるで戦国時代にタイムスリップしたかのような雰囲気が楽しめます。

家康メモ
織田信長との連合軍により武田軍を退けた徳川家康。この戦は鉄砲が初めて効果的に使われ、以後の戦術に大きな影響を及ぼしたと言われています。

■開催日—5月5日(金・祝)
■場所—長篠城址/新城市長篠字市場22-1
■問合せ—新城市観光協会/0536-29-0829

豊橋 吉田花祭り

まちがピンク色の花で
染まって活気づく!
広小路三丁目にある白山比咩神社(しらやまひめじんじや)の例大祭として「まちおこし」を目的に行われている祭り。鮮やかなピンクの花飾り「勝花(かちばな)」を背負った人々が豊橋市の中心街、広小路通りを練り歩き、まちに賑わいをもたらしてくれます。

■開催日—5月4日(木・祝)5日(金・祝)
■場所—白山比咩神社
豊橋市広小路三丁目82番地
■問合せ—吉田花祭り実行委員会 090-3480-0423(河合)

豊川 菟足神社風まつり

参拝客を、大きなウサギがお出迎え。
稲の豊作を願った「田まつり」、風に対する信仰を寄せた「風まつり」が行われる菟足神社。その建立は飛鳥時代といわれ、菟上足尼命(うなみすくねのみこと)が祀られています。拝殿には今年の干支「ウサギ」の巨大な置物が鎮座して参拝客をお出迎え。境内では撫でると縁起が良い木彫りのウサギやおみくじ、ウサギの印が施された御朱印も頒布されています。飛躍の年を願って訪れてみてはいかが?

■開催日—4月8日(土)9日(日)
■場所—菟足神社
豊川市小坂井町宮脇2
■問合せ—豊川市観光協会 0533-89-2206



とよはしまちあるき

3月14日(火)～4月9日(日)
この時期の吉田城内は桜が満開で春爛漫！吉田城をテーマにしたイベントや吉田城検定(3月26日のみ)、スタンプラリーなど、お城マニアや歴史マニアにも楽しめる内容がいっぱいです。

吉田城 春まつり

ボランティアガイドが盛り上げる！

13階展望ロビーからの眺めは絶景！「手筒花火体験パーク」もあります。



戦国時代初期、三河の重要拠点だった吉田城。本丸の鉄櫓は模倣再建されたものです。
期間中桜や春がモチーフのつるし飾りで鉄櫓内が華やかに

落ち着いた和の空間で立札茶席にてお抹茶がいただけます。(季節の茶菓子付き/400円)

吉田城見どころガイド

3/25(土)・26(日) 4/1(土)・2(日)
吉田城を知り尽くしたボランティアガイドが上記日程で吉田城の見どころをご案内！(参加費無料・予約不要)



1 吉田城 鉄櫓内
鉄櫓は中に入って見学できるので、豊橋(吉田城)の歴史を学ぶことができます。



2 腰曲輪 入舟遺構前
豊川側の防御として造られた曲輪(くるわ)。堂々たる石垣と艶やかな桜の対比が見事！



3 吉田城 最古の石垣
池田照政期のものと言われる吉田城最古の石垣。令和2年12月に発見されました。



4 総延長 1km以上の土塁
城守りの要の土塁。吉田城に現存する土塁は全国屈指の規模を誇る貴重な遺構です。



5 南多門 千貫櫓台の石垣
城内でも最大級の高さとなる南多門の石垣。その規模は鉄櫓と並ぶスケール！



ボランティアガイドと行く 春のとよはしまちあるきツアー！



毎月第3金曜日は「とよはしまちあるき」の日!!

ガイドさんの説明にも「へえ〜！」がいっぱい。普段見慣れている場所でも「その気になって」見てみると、違う姿が発見できるかも！
●13時・豊橋観光案内所集合(現地解散)
●定員15名(最少催行人数3名)
●ツアー申込先/(一社)豊橋観光コンベンション協会 TEL.0532-54-1484

2023年 3/17(土) 豊橋老舗 甘味処めぐり

古い歴史を持つ豊橋のまちには由緒ある老舗があちこちに点在！歩き疲れたら、甘いものを頂きながらひと休み。

- 豊橋駅
- 久通
- ヤマサちくわ
- 濱金魚町本店
- 丸文岩瀬商店
- 魚市場跡
- なめし田菜
- 大正軒本店
- 若松園本店
- 岩井芳文堂
- 絹与
- 本の豊川堂

2023年 4/21(土) 豊橋駅西コース

由緒ある神社や地元の人から長く愛されている店が点在する豊橋駅西側エリア。明治から令和までの時代の移り変わりを実感できます。

- 豊橋駅
- 豊橋鉄道唱歌石碑
- 綿田橋りょう
- 栄泉の跡
- 伊勢屋商店
- 浄徳院
- 地蔵堂
- 羽田八幡宮

2023年 5/19(土) 豊橋広小路コース

飲食店が賑やかに並ぶ豊橋駅東側には多くの名刹があり、喧騒の中落ち着いた雰囲気です。

- 豊橋駅
- 安藤動物園跡
- 陶師十や
- 世界毛糸系
- アトリエマルエス
- 理容タニヤ
- キヤン TAKATSU
- バルパッシュ
- フォセッタ
- 吉田新座落
- 白山比咩神社
- 吉田天満宮
- 竹上豆腐店
- オーテ万年書店跡

豊橋観光コンベンション協会 会員情報

ほの国 掲示板

この季節、選りすぐりのお店のおすすめや押し情報、地域ならではのイベントなど、旬の耳よりネタをご紹介します。観光の道標にしてみてください。

このアイコンのあるお店は徳川家康ゆかりのメニューや商品があります

いちよう 中野町本店

家康公ゆかりの食材を“なめし田菜”で存分に味わう
家康公の好んで食べた食材がいちようのメニューで蘇る!焼きおにぎりに始まり、好物の八丁味噌・天ぷら、とろろ、そして若い頃から晩年まで一貫して食したとされる麦飯。料理と共に出世の道を歩んだ家康公を感じてください。

0532-48-4680
豊橋市中野町字平北80番地

國松本店

家康も菌活していた!? 「國松本店の濱納豆」
創業140年、吉田城のほとりにある古刹 悟真寺に伝わる製法で濱納豆を作り続ける國松本店。濱納豆には生麹の6.6倍抗酸化作用があるとされ、「徳川家康公も好んで召した上がった」という記録もあり、健康な毎日のため家康公にあやかってみてはいかが?

0532-52-5252
本社/豊橋市船町125
店舗/豊橋市船町120

玉川うどん 広小路本店

老舗ならではのうどん・そばを堪能
創業明治42年。厳選された粉の持ち味を十二分に活かしたうどん・そばは老舗ならではの味わい。新鮮な魚とお肉料理が楽しめるおすすめコース(3,650円)はメをミニ豊橋カレーうどんにするとの益々充実の内容に。大好評、名物豊橋カレーうどんは1,050円〜で、数々のトッピングあり。

0532-52-5415
豊橋市広小路1丁目13

菜めし田菜きく宗

自家製豆腐が活きる 素材な味わい
創業文政年間。こんがり焼いた自家製豆腐に秘伝の味噌をぬった田菜と、細かく刻んだ大根の葉を混ぜ合わせた菜めしは昔から変わらず温も溢れる味わい。定食1,903円(税込)で江戸時代から伝わる食を楽しめます。

0532-52-5473
豊橋市新本町40

寿司料理 大木屋 鮎

穴子握りの香ばしい味わいが人気
創業明治40年、渥美半島や三河湾など新鮮な海の幸をはじめ、厳選したネタで握る味わいに定評がある老舗。表面をパリッとあぶった穴子の脂は特に人気で、2,100円の穴子握り4貫と海鮮丼セットはおすすめです。ランチ限定で穴子4貫と海鮮丼1,100円、上断定食1,100円、断定食700円もあります。

0532-52-6415
豊橋市新本町45

Chinese Dining 謝 駅前店

ライブ感ある オープンキッチンが魅力
平日限定のランチは322通りもお楽しみいただけます。デザイナーは四川料理の定番、四川麻婆豆腐・エビのチリソース・チンジャオロースなどをお好みのお酒とともに満喫ください。(個室完備/15〜55名様 店舗貸切/80名様)

0532-55-6226
豊橋駅前大通1-135
ココアベニュー1F

炭とおでん 広小路でんでん

焼きながら食す“ちくわ”は 極上の味わい
“豊橋名産”でおなじみのヤマサのちくわ。そのちくわを厳選した鮮魚で作った生のすり身から卓上の炭火で焼きながら味わえるのが直営の本格居酒屋「広小路でんでん」。板長自慢の創作料理と共にお酒がすすみます。駅から徒歩5分も魅力です!

0532-52-2764
豊橋市広小路1丁目10
(精工館隣)

ホテルアンシア豊橋1F レストラン ロジェール

地元生産者を応援! 春のご馳走よくばりマルシェ
和洋中の多彩な料理に加え、地元豊橋の生産者が心を込めて作った野菜や産地にこだわった食材が美味しい料理になり提供されます。豊橋の美味をお腹いっぱい食べて、地元生産者を応援してみませんか?詳しくは公式ホームページ。

0532-57-1036
豊橋市花田町西宿

うなぎ丸よ

創業140余年の鰻料理専門店
老舗の味を守り、技に磨きをかけて“うなぎ一筋”。丸よのうなぎは、ふくよかで繊細な味が自慢で、厳選した鰻を秘伝のタレでじっくりと焼き上げています。「べっぴん」という言葉の語源の店としてTV・新聞で紹介もされている丸よ。うなぎ定食・丼は2,673円(税込)〜、各種取り揃えています。

0532-52-4987
豊橋市札木町50

加根一 落合一郎商店

地元特産原料を使った こだわりの無添加佃煮が絶品!
豊橋産うずら卵の黒糖黒酢煮、伊良湖産あおさの佃煮、三河ポークのしぐれ煮など、他では手に入りにくい地元特産の原料を使用。無添加、減塩の、美味しく、体にやさしい佃煮が豊富に揃っています。

0532-31-2165
豊橋市羽根井町31-2

ホルモン焼き 苑莉(えんれい)

自家製タレと味わう通好みのホルモンは専門店ならではの!
丁寧に下処理された新鮮なホルモンから、黒毛和牛のタン・ハラミなどの希少部位まで圧倒的な品揃え。特に黒毛和牛のホルモンやワルテ、コリコリなど通にはたまらない魅力のラインナップ。熟成された自家製タレと一緒に楽しめます。全席換気扇完備。個室有。

0532-52-3331
豊橋市広小路1-4-3

日本料理 藤さわわ ロワジュールホテル豊橋

食材が持つ風味や特徴を生かした日本料理が味わえる
落ち着いた雰囲気にも包まれた「日本料理藤さわわ」。四季折々の食材が持つ風味や特徴を生かし、料理長がひとつひとつ、丁寧に工夫を凝らして作り上げる日本料理。料理を通して四季を感じられるお店で、大切な人と贅沢なひと時を過ごしてみたい方がですか。

0532-47-6200
豊橋市藤沢町141
ロワジュールホテル豊橋1階

ボンとらや 本店

豊橋といえば「ビレーネ」
創業1950年、豊橋市を中心に多くの店舗を持つ和・洋菓子店。卵たっぷりふわふわスポンジにココのある生クリームが入った「ビレーネ」は、一日に3,000個販売される看板商品。北海道産大豆を使うこだわりで素材と伝統の味を楽しませてくれる「初代寅蔵どらやき」は、絶品です。

0532-31-6116
豊橋市羽田町66

和洋菓子司 入河屋 豊橋湊町店

ファーストクラス機内食に採用された銘菓詰め合わせ
創業明治十八年。「豊橋のご縁は時を同じくして創業した山藤さんの砂糖糖を大八車に乗せ、本坂峠を越えて運んでいたころに遇います」と語る和洋菓子司。その縁から今年で138年。確かな味わいはファーストクラス機内食にも採用されています。

0532-57-7772
豊橋市湊町136

完和萬染株式会社

染物屋の手作りトートバッグ
明治35年創業の老舗染物屋さん。帆前掛の、のれんなどが作られています。最近のお手紙は豊橋産の前掛生地を使ったリパーシブルトートや、刺子の生地で作ったトートバッグ。オリジナルも作ってもらえるので興味のある人は問い合わせて。

0532-54-3131
豊橋市中柴町67

豊橋トウクトウク

普通自動車免許でOK! 東三河の自然を満喫しよう!
東三河発祥の三輪自動車「トウクトク」。東三河の自然を満喫しよう! 東三河発祥の三輪自動車「トウクトク」。東三河の自然を満喫しよう!

090-2610-9977
豊橋市清須町字堂西108

吉田花祭り

鮮やかなピンク色の花飾りが5月のまちを彩る!
「吉田の三大祭」とされていた「吉田花祭り」。江戸時代からの歴史があるものの豊橋空襲などで途絶えていたのが2015年に復活。華やかな「勝花」をつけて練り歩く渡御行列はコロナ禍で中止されていましたが、今年は「疾病退散」の願いを込め再開されます。ぜひ足を運んでみて!

090-3480-0423
豊橋市広小路3丁目82

東三河モーニング街道

モーニング文化 発展を目指し11年目!
今年で第11回を数えるモーニング街道スタンプラリー。地元の食材を使い、独自の喫茶文化の中で発展してきた東三河のモーニング。この全国屈指のモーニング文化の伝承と発展のために、10月より開催中。多数の新規加盟店を募集中。

090-9464-7111
株式会社Lirem内
豊橋市花田町中92-11

豊橋信用金庫

地域のコミュニティバンク
大正10年の創業以来、地域で愛され続けた豊橋信用金庫。「豊橋信用金庫SDGs宣言」のもと、地域社会の課題解決に向けた取組みや、経営基盤の拡充、経営体質の強化を実践中。今後も地域に欠かせない金融機関としての役割を担ってまいります。

0532-52-0321
豊橋市小坂町579番地